

消 防 年 報

平 成 2 7 年 版

湯 淺 広 川 消 防 組 合

はじめに

この消防年報は、湯浅広川消防組合の消防現勢と過去5年間の消防業務の実績、統計等を収録し、今後の施策の参考にするとともに、広く一般に消防行政の現況をご理解いただき、一層のご指導とご協力を願うため編集したものです。

当消防本部は、和歌山県の湯浅町、広川町の2つの町を管轄としています。

平成27年

湯浅広川消防組合消防本部

湯浅町は、和歌山県の中央からやや北部に位置し、西は紀伊水道に面して、海と山に囲まれた町で、醤油醸造町としては全国初となる「重要伝統的建造物保存地区」を有しています。16世紀末期頃に開発されたとされる北町、鍛冶町、中町、濱町を中心とする醤油醸造業が最も盛んであった地区が、平成18年に保存地区として指定されました。

保存地区は、伝統的な木造住宅、土蔵が多く海からも近いことから住民の防災意識が高く、当地区から湯浅町初となる自主防災組織が結成されました。

現在では初期消火訓練、津波避難訓練等を計画的に実施し、他の自主防災組織の模範となりながら、防災活動に取り組んでいます。

また、湯浅町の深専寺には、安政元年(1854年の南海地震で起こった津波の概要を記した記碑が建てられています。(和歌山県指定文化財)



重要伝統的建造物保存地区写真



大地震津波心得の記碑



この写真は広川町庁舎前に建てられている浜口梧陵翁の銅像です。

広川町が生んだ偉大な先覚者・浜口梧陵翁の業績を称え、明治30年小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)により「生ける神」なる物語として全世界に紹介され、昭和12年には文部省発行、小学校国語読本巻十(5年生用)に「稲むらの火」として紹介されていました。

平成16年12月のインド洋大津波以降、世界規模で「稲むらの火」の物語が、津波防災教育の教本として活用されており、我が国でも平成23年度から小学校教科書に再掲載されています。同町では、平成19年4月に稲むらの火の館(浜口梧陵記念館・津波防災教育センター)が建設されました。

また、2011年6月、国内では11月5日を「津波防災の日」と定め、2015年12月には国連が同日を「世界津波の日」と制定しました。

いずれも上記の逸話「稲むらの火」に由来しています。

稲むらの火

「これはただ事ではない。」とつぶやきながら、五兵衛は家から出てきた。

-----『稲むらの火』より抜粋-----

安政元年(1854年)に広村(現在の広川町)を襲った大津波。

浜口梧陵は被災した人々のために敢然と立ち上がりました。彼の活躍ぶりを描いた「稲むらの火」からは当時の緊迫感がひしひしと伝わってきます。

梧陵は広村で分家浜口七右衛門の長男として生まれ、12歳の時に本家の養子として銚子(現在の千葉県)に移り家業であるヤマサ醤油の事業を継ぎました。

たまたま彼が広村に帰郷していたとき、突如大地震が発生し、紀伊半島一帯を大津波が襲いました。

彼は、稲むら(ススキや稲束を積み重ねたもの)に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して、彼らを安全な場所に避難させました。しかし津波により村には大きな爪あとが残りました。

このかわり果てた光景を目にした梧陵は、故郷の復興のために身を粉にして働き、被災者用の小屋の建設、農機具・漁業道具の配給をはじめ各方面において復旧作業にあたりました。また、津波から村を守るべく長さ650m余り、高さ約5mの防波堤の築造にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えました。

その他にも、私塾「耐久舎」の開設、また藩政や国政にも様々な活躍をしその功績をたたえる碑が、広川町内の各地に建立されています。

広川町では平成15年から「稲むらの火祭り」と称して、広川町役場前から広八幡神社まで参加者らが各自「たいまつ」を持って行進し、「自分の田の稲むらに火を放ち、村人の避難を呼びかけ押し寄せてくる津波から住民を救った」という浜口梧陵の偉功を後世に伝える行事を毎年開催しております。

現在、梧陵の精神は、地域住民及び湯浅広川消防組合の防災の精神的支柱として受け継がれています。

湯浅広川消防組合のホームページ(<http://www5.ocn.ne.jp/~yuhirofd/>)に詳細を掲載しております。



浜口梧陵翁の肖像



現在の堤防(梧陵堤)



「稲むらの火祭りから」

目次

管内位置図	1
構成町の紹介	2
歴代役職員名	3~5
消防の沿革	6~12
総務 組合の機構・消防庁舎の現況・管内面積、人口及び世帯数	13
消防予算・職員の階級別勤続年数・職員の階級別年令状況	14
消防本部職員配置表・消防署職員配置表	15
消防職員の資格取得状況	16
予防 防火対象物の現況・消防用設備設置件数	17
予防関係届出処理状況・広報実施状況・訓練指導状況	18
建築確認同意事務処理状況・建築確認同意事務町別状況・建築確認用途別申請内訳	19
危険物施設数・危険物規制許認可事務処理状況・危険物関係申請、届出受理状況	20
立入検査等実施状況・防火対象物定期点検及び特例認定状況	21
防火管理の状況・防火管理者資格講習会実施状況	22
警防 消防通信系統図・無線電話保有状況・有線電話等保有状況	23
消防相互応援協定・消防水利の現況	24
主力機関の紹介	25
火災 火災発生の推移・町別火災種別状況	26
火災の概況・火災覚知別表	27
曜日別火災状況・出火時刻別火災状況	28
月別火災状況・出火原因別火災状況	29
気象別火災状況	30
その他の出場状況	31
救急 救急出場の推移・事故別発生状況	32
時間別出場状況・高度救命処置件数	33
程度別搬送状況・病院照会件数	34
救急資器材一覧表	35
救助 救助出場の推移・月別救助出場状況	36
救助資器材一覧表	37

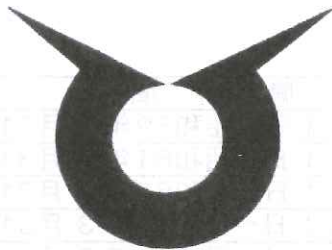
管内位置図



構成町の紹介



平成27年湯浅町出初式



平成27年広川町出初式

湯浅広川消防組合を構成する湯浅、広川の両町は、紀中有田郡の南端に位置し、白馬山脈から湯浅広港へ注ぐ清流広川を挟んで形成され、共に長い歴史と伝統に育かれた文化と自然豊かな町です。

歴代役員名

歴代管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	寺西 清	昭和57年4月1日～昭和59年3月31日	湯浅町長
2代	石原 久男	昭和59年4月1日～昭和61年3月31日	広川町長
3代	寺西 清	昭和61年4月1日～昭和63年3月31日	湯浅町長
4代	石原 久男	昭和63年4月1日～平成2年3月31日	広川町長
5代	寺西 清	平成2年4月1日～平成4年3月31日	湯浅町長
6代	石原 久男	平成4年4月1日～平成6年3月31日	広川町長
7代	寺西 清	平成6年4月1日～平成6年11月27日	湯浅町長
8代	妻木 尚武	平成6年12月5日～平成8年3月31日	湯浅町長
9代	石原 久男	平成8年4月1日～平成10年3月31日	広川町長
10代	妻木 尚武	平成10年4月1日～平成12年3月31日	湯浅町長
11代	石原 久男	平成12年4月1日～平成14年3月31日	広川町長
12代	妻木 尚武	平成14年4月1日～平成16年3月31日	湯浅町長
13代	石原 久男	平成16年4月1日～平成17年9月24日	広川町長
14代	白倉 充	平成17年10月6日～平成18年3月31日	広川町長
15代	伏木 健	平成18年4月1日～平成20年3月31日	湯浅町長
16代	白倉 充	平成20年4月1日～平成22年3月31日	広川町長
17代	上山 章善	平成22年4月1日～平成24年3月31日	湯浅町長
18代	白倉 充	平成24年4月1日～平成25年9月24日	広川町長
19代	西岡 利記	平成25年10月22日～平成26年3月31日	広川町長
20代	上山 章善	平成26年4月1日～現在	湯浅町長

歴代副管理者

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	石原 久男	昭和57年4月1日～昭和59年3月31日	広川町長
2代	寺西 清	昭和59年4月1日～昭和61年3月31日	湯浅町長
3代	石原 久男	昭和61年4月1日～昭和63年3月31日	広川町長
4代	寺西 清	昭和63年4月1日～平成2年3月31日	湯浅町長
5代	石原 久男	平成2年4月1日～平成4年3月31日	広川町長
6代	寺西 清	平成4年4月1日～平成6年3月31日	湯浅町長
7代	石原 久男	平成6年4月1日～平成8年3月31日	広川町長
8代	妻木 尚武	平成8年4月1日～平成10年3月31日	湯浅町長
9代	石原 久男	平成10年4月1日～平成12年3月31日	広川町長
10代	妻木 尚武	平成12年4月1日～平成14年3月31日	湯浅町長
11代	石原 久男	平成14年4月1日～平成16年3月31日	広川町長
12代	妻木 尚武	平成16年4月1日～平成16年8月30日	湯浅町長
13代	伏木 健	平成16年11月30日～平成18年3月31日	湯浅町長
14代	白倉 充	平成18年4月1日～平成20年3月31日	広川町長
15代	伏木 健	平成20年4月1日～平成20年9月18日	湯浅町長
16代	上山 章善	平成20年9月19日～平成22年3月31日	湯浅町長
17代	白倉 充	平成22年4月1日～平成24年3月31日	広川町長
18代	上山 章善	平成24年4月1日～平成26年3月31日	湯浅町長
19代	西岡 利記	平成26年4月1日～現在	広川町長

歴代議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	山口 政次	昭和57年4月1日～昭和58年11月9日	広川町議会議員
2代	林 芳楠	昭和58年11月10日～昭和62年8月4日	広川町議会議員
3代	木村 雅宥	昭和62年8月5日～平成3年12月4日	湯浅町議会議員
4代	中山 美輝夫	平成3年12月5日～平成6年3月3日	広川町議会議員
5代	木村 雅宥	平成6年3月4日～平成7年7月11日	湯浅町議会議員
6代	田中 修	平成7年7月12日～平成10年3月1日	広川町議会議員
7代	山下 邦弘	平成10年3月2日～平成12年2月29日	広川町議会議員
8代	山崎 幸雄	平成12年3月1日～平成14年3月5日	湯浅町議会議員
9代	畑中 秀敏	平成14年3月6日～平成15年9月25日	広川町議会議員
10代	北山 敏一	平成15年10月27日～平成16年3月2日	広川町議会議員
11代	山下 昌雄	平成16年3月3日～平成18年3月6日	湯浅町議会議員
12代	北山 敏一	平成18年3月7日～平成19年9月25日	広川町議会議員
13代	田中 修	平成19年10月31日～平成20年3月3日	広川町議会議員
14代	松本 典久	平成20年3月4日～平成22年3月9日	湯浅町議会議員
15代	椋原 淳奈	平成22年3月10日～平成24年2月28日	広川町議会議員
16代	松本 典久	平成24年2月29日～平成25年6月10日	湯浅町議会議員
17代	丸山 良章	平成25年6月25日～平成26年3月9日	湯浅町議会議員
18代	田中 修	平成26年3月10日～現在	広川町議会議員

歴代副議長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	亀井 信次	昭和57年4月1日～昭和58年7月31日	湯浅町議会議員
2代	畑上 兼男	昭和58年8月1日～昭和62年8月4日	湯浅町議会議員
3代	大西 三郎	昭和62年8月5日～平成元年10月15日	広川町議会議員
4代	松林 洋行	平成元年10月16日～平成3年12月4日	広川町議会議員
5代	田中 修	平成3年12月5日～平成7年7月11日	広川町議会議員
6代	成田 浩一	平成7年7月12日～平成9年6月17日	湯浅町議会議員
7代	山崎 幸雄	平成9年12月5日～平成12年2月29日	湯浅町議会議員
8代	田中 修	平成12年3月1日～平成14年3月5日	広川町議会議員
9代	山下 昌雄	平成14年3月6日～平成16年3月2日	湯浅町議会議員
10代	沖 久雄	平成16年3月3日～平成18年3月6日	広川町議会議員
11代	松本 典久	平成18年3月7日～平成19年3月3日	湯浅町議会議員
12代	椋原 淳奈	平成19年3月4日～平成22年3月9日	広川町議会議員
13代	横矢 政明	平成22年3月10日～平成23年4月1日	湯浅町議会議員
14代	松本 典久	平成23年4月2日～平成24年2月28日	湯浅町議会議員
15代	岡崎 幸範	平成24年2月29日～平成26年3月9日	広川町議会議員
16代	小松 英夫	平成26年3月10日～平成27年10月28日	湯浅町議会議員
16代	石橋 千歌子	平成27年10月29日～現在	湯浅町議会議員

歴代消防長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	井角 武雄	昭和57年9月17日～昭和59年1月22日	
2代	岡田 敏男	昭和59年1月23日～昭和60年7月11日	
3代	中 盾夫	昭和60年7月12日～平成5年3月31日	
4代	竹内 久	平成5年4月1日～平成7年1月8日	
5代	須井 義和	平成7年1月9日～平成8年3月31日	
6代	山崎 哲男	平成8年4月1日～平成11年6月30日	
7代	山家 修	平成11年7月1日～平成11年11月17日	
8代	上山 章善	平成11年11月18日～平成12年3月31日	消防長事務取扱 (湯浅町助役)
9代	白倉 充	平成12年4月1日～平成14年3月31日	消防長事務取扱 (広川町助役)
10代	寺西 義次	平成14年4月1日～平成15年7月14日	
11代	黒川 博務	平成15年7月15日～平成16年12月31日	
12代	三橋 雄作	平成17年1月1日～平成20年3月31日	
13代	辻岡 尚男	平成20年4月1日～現在	

歴代署長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	大西 辰次	昭和57年4月1日～平成19年3月31日	
2代	辻岡 尚男	平成19年4月1日～平成20年3月31日	
3代	大西 和彦	平成20年4月1日～現在	

消防の沿革

- 昭和57年 2月 湯浅広川消防組合設立県知事許可
4月 湯浅広川消防組合設立
管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
新規職員17名採用し県消防学校初任教育に入校
湯浅町より2名、広川町より2名職員派遣
大西 辰次(署長心得)消防大学校に入校(広川町から派遣)
7月 ホンダスーパーカブ70CC購入
8月 湯浅町消防団事務所を消防本部消防署に改築
9月 初代消防長に 井角 武雄 就任(湯浅町から派遣)
県消防学校初任教育17名修了
大西 辰次消防大学校卒業
10月 湯浅広川消防組合消防本部消防署業務開始(総員22名)
ポンプ車、積載車、救急車、各1台
(救急車については日本自動車工業会より寄贈される)
- 昭和58年 3月 吉備金屋消防組合(有田川町消防本部)との間に消防相互応援協定を締結
5月 訓練塔を設置
6月 第12回県下消防救助技術会へ出場(4名)
7月 第12回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
9月 広報車を購入
- 昭和59年 1月 消防長に 岡田 敏男 就任(湯浅町から派遣)
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
6月 ホンダスーパーカブ50CC購入
第13回県下消防救助技術会へ出場(4名)
7月 第13回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名)
昭和60年1月職員1名退職(総員21名)
4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員22名)
6月 第14回県下消防救助技術会へ出場(2名)
7月 第14回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
消防長に 中 盾夫 就任(湯浅町から派遣)
9月 職員1名消防大学校火災調査講習会修了
県消防学校初任教育1名修了
昭和61年1月職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 和歌山県農協共済福祉協会より救急車1台寄贈される
4月 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
6月 第15回県下消防救助技術会へ出場(3名)
7月 第15回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 昭和62年 4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員23名)
6月 第16回県下消防救助技術会へ出場(3名)
9月 県消防学校初任教育1名修了
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 昭和63年 1月 日高広域消防事務組合との間に消防相互応援協定を締結
職員1名消防協会有田支部長より表彰される
2月 和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員24名)
東近畿支部消防職員意見発表会出場
6月 第17回県下消防救助技術会へ出場(5名)
9月 県消防学校初任教育1名修了
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 平成 元年 2月 和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞
3月 軽貨物車を購入
4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員25名)
東近畿支部消防職員意見発表会出場
6月 第18回県下消防救助技術会へ出場(5名)
8月 吉備町で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加

- 9月 県消防学校初任教育1名修了
- 10月 甲種防火管理者資格講習会実施
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
- 12月 小型動力ポンプ付水槽車購入
職員1名県消防学校救急専科教育修了
- 平成2年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 4月 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
- 5月 職員1名和歌山県知事より功労章を受章する
- 6月 第19回県下消防救助技術会へ出場(5名)
- 7月 兼任救助隊を設置
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
- 平成3年 6月 第20回県下消防救助技術会へ出場(5名)
- 9月 甲種防火管理者資格講習会実施
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
- 平成4年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
- 6月 第21回県下消防救助技術会へ出場(6名)
- 7月 第21回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名)
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
- 9月 集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
消防本部・消防署業務開始10周年式典を挙
- 12月 職員1名県消防学校専科教育予防科修了
- 平成5年 3月 日本自動車工業会より救急車1台寄贈される
湯浅町、広川町災害弱者緊急通報システム運用開始
- 4月 消防長に 竹内 久 就任(湯浅町から派遣)
- 5月 職員1名和歌山県知事より功労章を受章する
- 6月 第22回県下消防救助技術会へ出場(2名)
- 7月 第22回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
- 8月 積載車を購入、救助工作車として運用する
- 9月 吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加
職員6名(救急隊3名、救助隊3名)国道42号線上の救急救助活動により管理者から表彰される
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
- 平成6年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
- 4月 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名)
湯浅広川消防組合、有田消防組合、日高広域消防事務組合において中紀組合消防連絡協議会発足
- 5月 職員1名和歌山県消防協会会長より功績章を受章する
- 9月 県消防学校初任教育2名修了
集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
- 10月 原動機付自転車購入
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
- 12月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任
職員2名県消防学校専科教育救助科修了
事務所、会議室、仮眠室 車庫の増築完了
- 平成7年 1月 消防長に 須井 義和 就任(湯浅町から派遣)
阪神・淡路大震災において職員2名救助隊員として派遣
- 2月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅰ課程修了
- 3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
職員1名派遣を解き湯浅町に帰任する(総員26名)
- 4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名)
- 6月 第24回県下消防救助技術会へ出場(6名)
甲種防火管理者資格講習会実施
- 7月 広報車を購入
- 8月 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(CD-1)を寄贈され受納式を挙
- 9月 県消防学校初任教育1名修了
吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加

- 11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了
広川町津波避難訓練参加
- 平成8年 12月 職員2名県消防学校専科教育予防科修了
1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
2月 湯浅御坊道路消防相互応援協定を締結
湯浅御坊道路消防相互応援協定に基づく覚書を締結
和歌山県防災ヘリコプター応援協定を締結
人員搬送車を購入
3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
和歌山県下消防広域相互応援協定を締結
和歌山県下消防広域相互応援協定に基づく覚書を締結
有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定を締結
有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定締結に基づく覚書を締結
湯浅御坊道路開通
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
消防長に 山崎 哲男 就任(湯浅町から派遣)
新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員28名)
5月 第11回職員救助練成会開催
6月 第25回県下消防救助技術会へ出場(6名)
7月 第25回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
8月 職員1名退職(総員27名)
9月 広川町津波避難訓練参加
第1回吉備町総合防災訓練に参加
県消防学校初任教育1名修了
10月 湯浅広川消防組合消防職員委員会発足
11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了
職員1名退職(総員26名)
近畿府県合同防災訓練へ参加
12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
- 平成9年 1月 職員2名県消防学校幹部教育中級幹部科修了
第1回消防職員委員会開催
2月 山之内製薬会社より救急車1台寄贈される
職員2名(財)消防科学総合センター火災原因調査入門講座修了
3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
職員2名(湯浅町1名、広川町1名)派遣を解き両町に帰任する
(総員24名)
消防本部・署の機構改革実施、3部制を導入する
和歌山市消防局と医療資器材等搬送応援協定(継続)を締結
4月 新規職員5名採用し県消防学校初任教育に入校(総員29名)
湯浅広川消防組合応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱施行
6月 第26回県下消防救助技術会へ出場(6名)
8月 第34回和歌山県防災総合訓練へ参加
9月 県消防学校初任教育5名修了
集団救急事故想定訓練を広川町で実施
10月 職員1名救急救命士養成所東京研修所へ派遣
湯浅御坊道路防災訓練へ参加
行幸啓消防特別警備実施(天皇皇后両陛下たちばな養護学校)
11月 職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
小型ポンプ軽積載車を購入
第2回消防職員委員会開催
12月 鉄骨1階建車庫の増築及び駐車場整備完了し、建築面積
474.69㎡、延べ面積627.66㎡となる。
- 平成10年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員1名救急救命士東京研修所卒業
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
4月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任

- 職員1名救急救命士国家試験に合格
新規職員1名採用し県消防学校初任科入校(総員30名)
- 平成11年 5月 第13回職員救助練成会開催
6月 第27回県下消防救助技術会へ出場(5名)
7月 甲種防火管理者資格講習会実施(24名受講)
8月 第27回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
9月 県消防学校初任教育1名修了
10月 職員2名救急救命士養成のため東京及び神戸研修所に派遣
- 平成11年 2月 水槽付小型消防自動車購入
3月 職員2名救急救命士・東京及び神戸研修所卒業
職員2名救急標準課程修了
4月 職員2名救急救命士国家試験に合格
新規職員1名採用し県消防学校初任科入校(総員31名)
6月 第28回県下消防救助技術会へ出場(6名)
7月 消防長に 山家 修 就任(湯浅町から派遣)
第28回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
甲種防火管理者資格講習会実施
9月 集団救急事故想定訓練を広川町で実施
県消防学校初任教育1名修了
10月 高規格救急車を購入
11月 高規格救急車運用開始
消防長事務取扱に 上山 章善 就任(湯浅町助役)
防災指導車購入
職員2名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
- 平成12年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員3名救急標準課程修了
救助用ボート購入
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
消防長事務取扱に 白倉 充 就任(広川町助役)
職員1名救急救命士養成所東京研修所へ派遣
6月 第29回県下消防救助技術会へ出場(9名)
7月 第29回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
9月 職員1名救急救命士東京研修所卒業
救助工作車購入
10月 職員1名救急救命士国家試験に合格
11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
近畿府県合同防災訓練に参加
- 平成13年 3月 職員3名救急標準課程修了
5月 林野火災警防演習訓練
(防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加)
6月 第30回県下消防救助技術会へ出場(7名)
7月 第30回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
9月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業
集団救急事故訓練を湯浅町で実施
10月 職員1名県消防学校専科教育警防科修了
11月 職員1名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
職員1名救急救命士国家試験に合格
- 平成14年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員1名救急標準課程修了
4月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任
消防長に 寺西 義次 就任(湯浅町から派遣)
6月 第31回県下消防救助技術会へ出場(6名)
7月 第31回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
10月 甲種防火管理者資格講習会実施
- 平成15年 2月 ドクターヘリ合同訓練実施
6月 第32回県下消防救助技術会へ出場(8名)
7月 消防長に 黒川 博務 就任(湯浅町から派遣)
第32回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(9名)
平成15年度防災航空隊連携訓練実施

- 8月 第32回全国消防救助技術大会へ出場(3名)
9月 和歌山県下(紀中ブロック)緊急消防援助隊合同訓練実施
11月 職員2名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
平成16年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 高規格救急車購入
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
6月 第33回県下消防救助技術会へ出場(8名)
7月 第33回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
9月 有田市で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加
11月 職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
平成17年 1月 消防長に 三橋 雄作 就任(湯浅町から派遣)
職員1名消防協会有田支部長より表彰される
6月 第34回県下消防救助技術会へ出場(7名)
7月 第34回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
9月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業
集団救急事故訓練を湯浅町で実施
10月 管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任
職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了
近畿府県合同防災訓練に参加
11月 職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
平成18年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員1名和歌山県消防協会会長より功労賞を授与する
4月 管理者に 湯浅町長 伏木 建氏 就任
6月 第35回県下消防救助技術会へ出場(5名)
7月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了
8月 第35回全国消防救助技術大会へ出場(3名)
10月 平成18年度防災航空隊連携訓練実施
職員1名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
11月 緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
平成19年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 ポンプ車購入
人員搬送車購入
4月 新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校(総員32名)
5月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
湯浅広川消防組合、有田川町消防本部、有田市消防本部において、有田地域消防連絡協議会発足
6月 広報車購入
第36回県下消防救助技術会へ出場(5名)
8月 財団法人宝くじ協会より消火通報訓練指導車「けすゾウくん」を寄付される。
9月 県消防学校初任教育2名修了
11月 職員1名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
平成20年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員2名救急標準課程修了
4月 管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任
消防長に 辻岡 尚男 就任
新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校(総員32名)
5月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
6月 第37回県下消防救助技術会へ出場(7名)
7月 職員1名消防大学校火災調査科修了
8月 平成20年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加
9月 県消防学校初任教育1名修了
10月 職員1名県消防学校幹部教育上級幹部科修了
林野火災警防演習訓練
(防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加)
11月 職員1名県消防学校専科教育救助科修了
平成20年度防災航空隊連携訓練実施
12月 職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了
平成21年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員1名救急救命士・九州研修所卒業

- 職員1名救急標準課程修了
- 平成22年 4月 職員1名救急救命士国家試験に合格
新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校(総員32名)
- 6月 第38回県下消防救助技術会へ出場(8名)
平成21年度合同水難救助訓練実施
(有田川町消防本部・湯浅警察署参加)
- 7月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
- 9月 県消防学校初任教育1名修了
- 11月 職員1名県消防学校専科教育警防科修了
緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
- 12月 職員1名県消防学校幹部教育中級幹部科修了
- 平成22年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される
職員1名和歌山県知事より永年勤続功労章を表彰される
職員1名県消防学校専科教育救急科修了
- 4月 職員1名救急救命士国家試験に合格
有田市消防本部・有田川町消防本部・湯浅広川消防組合
消防本部・日高広域消防事務組合消防本部・御坊市消防本部
において紀中消防連絡協議会を発足
- 5月 高規格救急車購入
- 6月 第39回県下消防救助技術会へ出場(10名)
- 8月 職員1名全国消防協会より全国優良消防職員表彰される
- 9月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
水難救助車購入
集団救急事故訓練を湯浅町で実施
- 11月 職員1名県消防学校専科教育救助科修了
潜水隊発足(隊員9名)
- 12月 職員1名県消防学校専科教育予防科修了
- 平成23年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 東日本大震災において職員6名を緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ派遣。
職員3名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続
功労章を表彰される
- 4月 新規職員2名採用し県消防学校初任教育科入校(総員34名)
- 5月 平成23年度合同水難訓練実施(海上保安庁、泉佐野消防本部)。
- 7月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了
- 9月 県消防学校初任教育2名修了
平成23年度合同水難救助訓練を実施(有田市消防本部)。
台風12号において職員6名を和歌山県下消防広域応援隊として新宮市へ派遣。
- 10月 緊急援助隊中紀ブロック訓練に職員3名が参加
- 12月 職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了
- 平成24年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される
職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続
功労章を表彰される
職員13名全国消防長会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される。
- 6月 平成24年度合同水難訓練を実施(湯浅警察、有田川町消防本部、
有田市消防本部)。
- 7月 平成24年度合同水難訓練を実施(海上保安庁、日高広域消防事務組合消防本部、御坊市消防本部)
- 8月 平成24年度合同水難救助訓練を実施(御坊市消防本部、日高広域消防事務組合消防本部)。
- 11月 職員1名県消防学校専科教育警防科修了
平成24年度阪和自動車道路防災訓練実施
- 12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
職員1名県消防学校専科教育初級幹部科修了
- 平成25年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される。
- 3月 職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続
功労章を表彰される。
- 4月 新規職員2名採用し県消防学校初任教育科1名入校(総員36名)
- 6月 第42回県下消防救助技術会へ出場(10名)
- 7月 職員1名退職(総員35名)

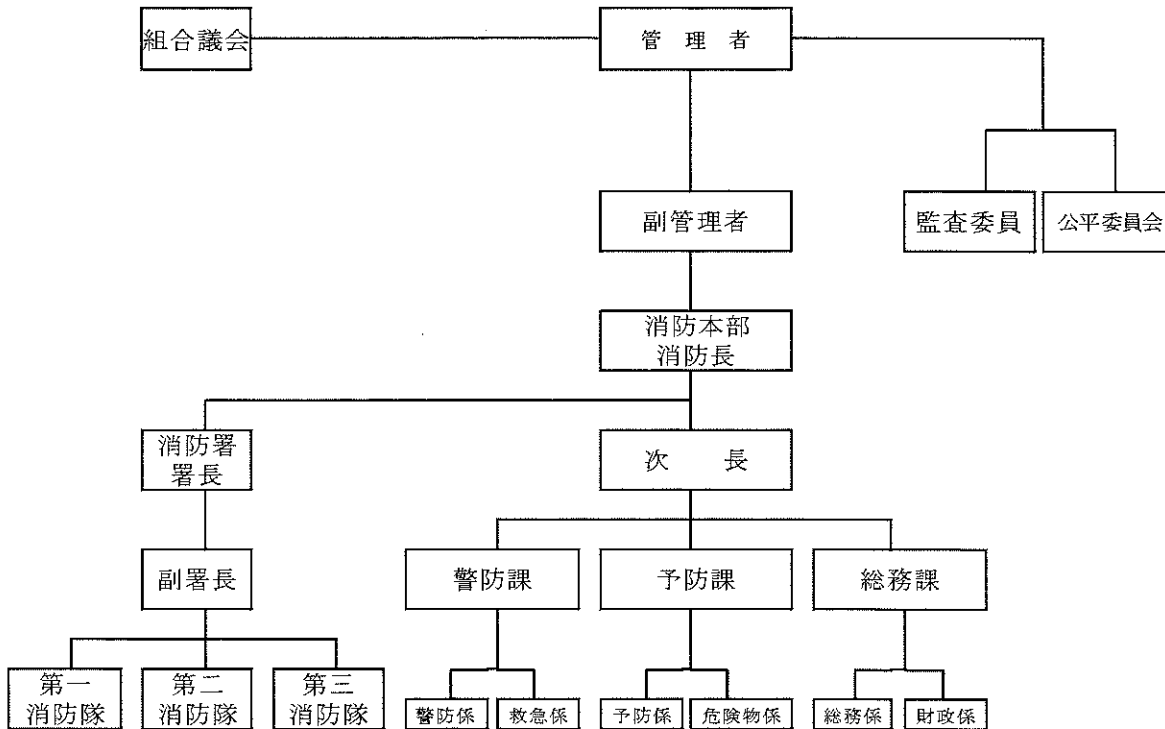
- 平成25年度警察、消防合同水難訓練を実施
(有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署)
- 8月 有田市合同水難救助訓練を実施
- 9月 新規職員1名採用(36名)
県消防学校初任教育科1名修了
- 10月 職員2名県消防学校火災調査科修了
- 11月 職員1名県消防学校予防査察科修了
- 平成26年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続
功労章を表彰される
職員1名和歌山県知事より功労章を表彰される
職員2名県消防学校専科教育救急科修了
- 4月 職員1名県消防学校初任教育科入校
- 6月 第43回県下消防救助技術大会へ出場(8名)
平成26年度警察・消防合同水難訓練を実施(有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署)
- 7月 職員3名救急救命士処置拡大追加講習修了
- 9月 兵庫県火災調査研修に参加(4名)
有田市消防本部合同水難訓練を実施(9名)
職員1名県消防学校初任教育科1名修了
- 10月 職員1名県消防学校専科教育上級幹部科修了
緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加(7名)
- 平成27年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続
功労章を表彰される
職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される
職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される。
職員1名救急救命士・東京研修所卒業
職員1名県消防学校専科教育救急科修了
- 4月 職員1名救急救命士国家試験に合格
湯浅広川消防組合新庁舎竣工式
湯浅広川消防組合新庁舎業務開始
- 6月 第44回県下消防救助技術大会へ出場(9名)
- 7月 平成27年合同水難訓練を実施(湯浅警察、有田川町消防本部、有田市消防本部)
職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
- 10月 緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加(3名)
職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了
- 11月 職員1名県消防学校火災調査科修了
- 12月 職員1名和歌山県消防学校専科教育警防科修了
有田郡市集団災害訓練に参加(7名)

総務



管内航空写真

組合の機構



消防庁舎の現況

湯浅広川消防組合消防本部 電話 (0737) 64-0119
 湯浅広川消防組合消防署 FAX (0737) 63-6626
 地域防災センター

所在地：和歌山県有田郡湯浅町大字青木670番地
 敷地面積：3,932.88㎡
 消防庁舎：鉄筋コンクリート造り2階建 延べ面積1,149.56㎡
 車庫・備蓄倉庫：鉄骨造り平屋建 延べ面積 437.20㎡
 主訓練塔：鉄骨造り5階建 延べ面積 162.25㎡
 補助訓練塔：鉄骨造り2階建 延べ面積 36.00㎡
 自家給油取扱所：10kℓ地下タンク(ガソリン6,000ℓ、軽油4,000ℓ)

管内面積、人口及び世帯数

(平成27年12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
面積	20.79 km ²	65.33 km ²	86.12 km ²
人口	12,786人	7,423人	20,209人
世帯数	5,561世帯	2,811世帯	8,372世帯

消防予算

4月1日基準の人口・世帯数

	消防組合 決算額 (千円)	構成町一般会計 決算総額 (千円)	消防費 決算総額 (千円)	人口 (人)	世帯数 (戸)
24年度	307,608	9,748,094	690,083	21,286	8,448
25年度	422,490	13,154,590	660,715	21,108	8,485
26年度	1,042,024	11,702,581	537,363	20,783	8,436
27年度	445,624	9,896,240	662,366	20,450	8,393

※平成27年度のみ当初予算

職員の階級別勤続年数

(平成27年12月31日現在)

	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
5年未満					1	4	5
5年以上～10年未満				1	3		4
10年以上～15年未満							0
15年以上～20年未満			3	5			8
20年以上～25年未満			2	1			3
25年以上	1	8	7				16
合計	1	8	12	7	4	4	36

職員の階級別年齢状況

(平成27年12月31日現在)

	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
25歳未満						3	3
25歳以上～30歳未満					4	1	5
30歳以上～35歳未満				1			1
35歳以上～40歳未満				4			4
40歳以上～45歳未満			3	2			5
45歳以上～50歳未満			4				4
50歳以上～55歳未満			5				5
55歳以上～60歳未満	1	8					9
60歳以上							0
合計	1	8	12	7	4	4	36

消防本部職員配置表

(平成27年12月31日現在)

	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消 防 長	1						1
次 長		1					1
課 長		3					3
副 課 長		4					4
総 務 係 長			1				1
財 政 係 長			1				1
総 務 主 任			1	1			2
財 政 主 任			2				2
財 政 係 員						1	1
予 防 係 長			1				1
危 険 物 係 長			1				1
予 防 主 任				2			2
危 険 物 主 任			1	2			3
予 防 係 員					1		1
警 防 係 長			1				1
救 急 係 長			1				1
警 防 主 任			1				1
救 急 主 任			1	2			3
警 防 係 員					2	3	5
救 急 係 員					1		1
合 計	1	8	12	7	4	4	36

消防署職員配置表

(平成27年12月31日現在)

	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
署 長		1					1
副 署 長		1					1
消 防 隊 長			3				3
消 防 副 隊 長			3				3
消 防 隊 員			6	6	4	4	20
消 防 隊 勤 務		3					3
合 計	0	6	12	6	4	4	33

消防職員の資格取得状況

(平成27年12月31日現在)

	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
大型第1種	1	2	4	3	1		11
大型特殊			1	1			2
普通第1種(中型第1種を含む)	1	8	12	7	4	4	36
小型船舶操縦士		4	2	4	1		11
小型移動式クレーン		2	8	6	3	2	21
救急I課程	1	8	9				18
救急II課程	1	8	9				18
救急標準課程			3	7	4	4	18
救急救命士		2	3	3	1		9
特殊無線技師	1	8	12	7	4	4	36
消防設備士(乙種)		3	1	1			5
危険物取扱者(甲,乙,丙)		5	7	2	1		15
酸素欠乏危険作業主任者		3	4	4			11
ガス溶接技能講習	1	7	5	1	1		15
アーク溶接業務特別教育		3	2	2			7
玉掛け技能講習		4	8	7	2	2	23
足場組立作業主任者				1			1
応急手当指導員		8	12	7	4	4	35
自動車3級整備士			2				2
フォークリフト技能講習			2	1			3
第2種電気工事士		1			1		2
特定化学物質等取扱作業主任者		1		1			2
潜水士			4	5	4	4	17
救助潜水訓練士			2	1			3

予 防



平成27年火災予防運動

防火対象物の現況

(平成27年12月31日現在)

項 別		町 別	湯 浅 町	広 川 町	計
1項	イ	映画館・観覧場等	1		1
	ロ	公会堂・集会場等	13	14	27
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール等	1	0	1
	ハニ	性風俗特殊営業を営む店舗等 カラオケボックス等	1		1
3項	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店等	13	3	16
4		百貨店・マーケット等	17	5	22
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	18	6	24
	ロ	共同住宅・寄宿舎・下宿等	76	13	89
6項	イ	病院・診療所・助産所等	8	4	12
	ロ	老人福祉施設等(要介護者入居施設等)	6	6	12
	ハニ	老人福祉施設等(ロ以外の施設等) 幼稚園・特別支援学校等	9 1	4 1	13 2
7項		小・中・高・大学校等	8	8	16
8項		図書館・博物館等	2	3	5
9項	イ	特殊浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場等	1	1	2
10項		車両以外の停車場等	1		1
11項		神社・寺院・教会等	10	8	18
12項	イ	工場・作業場等	52	24	76
	ロ	テレビ・映画スタジオ等			
13項	イ	自動車車庫・駐車場等	5		5
	ロ	飛行機等の格納庫			
14項		倉庫等	12	6	18
15項		前各号に該当しない事業所	41	13	54
16項	イ	特定複合用途防火対象物	28	4	32
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1		1
17項		重要文化財等	7	5	12
合 計			332	128	460

消防用設備設置件数

(過去5年間)

区 分		年 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
消火設備	消 火 器		9	5	5	5	6
	屋内消火栓設備		2	2	1	1	1
	屋外消火栓設備			1			
	スフ・リンクラー設備		2	4	1	1	1
	粉末消火設備等						2
	特殊消防用設備等						
警報設備	自動火災報知設備		13	10	11	10	12
	非常警報設備		4	5	5	2	4
	漏電火災警報器						
	消防通報火災報知設備		3	3		2	3
避難設備	避難器具		2				
	誘導灯		8	9	5	6	6
消火活動	連結送水設備						
	排煙設備						
合 計			43	39	28	27	35

予防関係届出処理状況

(過去5年間)

区 分		年 別				
		平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
消防法関係	防火管理者選(解)任届	25	24	26	30	22
	消防計画作成(変更)届	27	30	34	51	27
	工事整備対象設備着工届出書	11	17	8	15	10
	消防用設備等設置届出書	36	19	28	20	26
	消防用設備等点検結果報告書	99	107	109	99	110
火災予防条例関係	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱所	3	3	4	2	3
	防火対象物使用開始届	8	5	2	3	7
	炉、かまど、ボイラー等設置届	3		5	10	3
	変電、発電、蓄電池設備設置届	10	13	6	21	8
	水素ガスを充填する気球の設置届					
	火災とまぎらわしい煙等の届	13	20	17	14	36
	煙火打ち上げ届					1
	水道断水・減水届出書		2			3
	道路工事・占有届	37	16	21	13	9
	少量危険物、指定可燃物貯蔵届出書	2	5	4	9	1
移譲関係	催物開催届出書	2	1	1	1	1
	液化石油ガス関係	11	4	18	17	7
	火薬類関係	10	14	15	13	7
	高圧ガス関係	9	15	15	5	14
合 計		306	295	313	323	295

広報実施状況

(平成27年中)

主 な 広 報 活 動	対象数
立て看板、ポスターの設置	160個
横断幕、防火のぼりの設置	200本
街頭広報(広報予防ティッシュの配布)	3,000個
”(車両による巡回)	全町
町放送、有線放送による広報	全町

訓練指導状況

(過去5年間)

区 分		年 別				
		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
消 火 訓 練		5	16	14	9	18
避 難 ・ 通 報 訓 練		8	18	22	11	30
総 合 訓 練		56	59	49	26	50
防 火 映 画 等		10	13	5	9	11
起 震 車 ・ 煙 体 験		8	5	8	7	9
合 計		87	111	98	62	118

建築確認同意事務処理状況

(過去5年間)

種 別	年 別		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
	新築	増改	7	8	8	15	13
の	築	築			2	1	2
そ	他	他	3	1	1		
合	計		10	9	11	16	15

建築確認同意事務町別状況

(過去5年間)

種 別	年 別		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
	浅川町	川町	9	5	11	14	14
広	川	町	1	4		2	2
合	計		10	9	11	16	16

建築確認用途別申請内訳

(過去5年間)

用 途	年 別		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
	公会堂・集会場等	飲食店等		2			
物品販売店舗等	旅館・ホテル等	共同住宅等		4	1		2
病院・診療所等	老人福祉施設等	学校等	1				
図書館・博物館・美術館	神社・寺院・教会等	工場・作業場等					2
倉庫等	車庫・駐車場等	事務所等		1			
複合用途防火対象物	専用住宅	併用住宅			1	4	1
その他の工作物等			5		2	4	4
合	計				2	4	2
			1	1			3
						3	
				1	2	3	
合	計		10	9	11	16	16

危険物施設数

(平成27年12月31日現在)

施設区分		町別		計
		湯浅町	広川町	
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	2	5
	屋外タンク貯蔵所	5	7	12
	屋内タンク貯蔵所			
	地下タンク貯蔵所	18	4	22
	移動タンク貯蔵所	6	9	15
	屋外貯蔵所	1		1
	簡易タンク貯蔵所		1	1
小計		33	23	56
取扱所	給油取扱所	15	7	22
	一般取扱所	6	3	9
	小計	21	10	31
合計		54	33	87

危険物関係申請、届出受理状況

(過去5年間)

区分	年別				
	平成22年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
設置許可申請				5	
変更許可申請	1	5	9	5	4
完成検査申請	1	3	10	5	9
仮使用承認申請		5	7	5	4
完成検査前検査申請	16				
譲渡引渡届	1		2		
種類・数量変更届		2			1
保安監督者選解任届	4	1	6	8	5
住所・氏名変更届	5	9	3	1	7
軽微な変更届	1		4		8
休廃止届	4	1	4	2	2
合計	33	26	45	31	40

立入検査等実施状況

(過去5年間)

区 分		年 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
1 項	イ	映画館・観覧場等	1	1			
	ロ	公会堂・集会場等	2	3	6	2	
2 項	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール	1	1	1	1	1
	ハ	性風俗店舗等					
3 項	イ	カラオケボックス等	1	1	1	1	1
	ロ	待合・料理店等					
4 項	イ	飲食店等					
	ロ	百貨店・マーケット等	4	4	3	5	5
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	6	6	6	11	
	ロ	共同住宅・寄宿舎等			1		
6 項	イ	病院・診療所・助産所	3	3	5	3	2
	ロ	老人福祉施設等(要介護者入居施設等)	8	10	12	10	10
	ハ	老人福祉施設等(ロ以外の施設等)	3	2	4	2	
7 項	イ	幼稚園・特別支援学校等					
	ロ	小・中・高・大学校等					
8 項	イ	図書館・博物館等	1	1	1	2	
9 項	イ	特殊浴場等					
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10 項	イ	車両以外の停車場等					
11 項	イ	神社・寺院・教会等					
12 項	イ	工場・作業場等			1		
	ロ	テレビ・映画スタジオ					
13 項	イ	自動車車庫・駐車場等					
	ロ	飛行機等の格納庫					
14 項	イ	倉庫等					
15 項	イ	事業所等					
16 項	イ	特定複合用途防火対象	1	1	6	8	4
	ロ	イ以外の複合用途					
17 項	イ	重要文化財等	12	13	12	13	13
合 計			43	46	59	58	36

危険物施設	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
	47	26	41	25	11

防火対象物定期点検報告及び特例認定状況

(平成27年12月31日現在)

	1 項イ	1 項ロ	4 項	5 項イ	6 項イ	合 計
防火対象物定期点検		3	1	3		7
特 例 認 定						0

防火管理の状況

(平成27年12月31日現在)

項 別		区 分	法8対象物	選任済対象物	消防計画届出
1項	イ	映画館・観覧場等	1	1	1
	ロ	公会堂・集会場等	11	11	11
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール等	1	1	1
	ハニ	性風俗特殊営業を営む店舗等 カラオケボックス等	1	1	1
3項	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店等	3	2	2
4		百貨店・マーケット等	10	12	12
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	10	10	10
	ロ	共同住宅・寄宿舍・下宿等	5	5	5
6項	イ	病院・診療所・助産所等	3	3	3
	ロ	老人福祉施設等(要介護者入居施設等)	11	11	11
	ハニ	老人福祉施設等(ロ以外の施設等) 幼稚園・特別支援学校等	11 2	12 2	12 2
7項		小・中・高・大学校等	12	12	12
8項		図書館・博物館等	3	3	3
9項	イ	特殊浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場等			
10項		車両以外の停車場等			
11項		神社・寺院・教会等	2	1	1
12項	イ	工場・作業場等	4	4	4
	ロ	テレビ・映画スタジオ等			
13項	イ	自動車車庫・駐車場等			
	ロ	飛行機等の格納庫			
14項		倉庫			
15項		前各号に該当しない事業所	9	10	10
16項	イ	特定複合用途防火対象物	10	9	9
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1	1	1
17項		重要文化財等	3	2	2
合 計			113	113	113

防火管理者資格講習実施状況

(平成27年12月31日現在)

区 分	実 施 年 月 日	修了証交付人員数
甲 種	平成 7年 6月 13・14日	42人
甲 種	平成 11年 7月 7・8日	24人
甲 種	平成 14年 10月 23・24日	39人
甲 種	平成 18年 10月 5・6日	119人
再講習	平成 18年 10月 4日	27人
甲 種	平成 20年 6月 19・20日	96人
再講習	平成 23年 8月 23日	35人
甲 種	平成 23年 8月 24・25日	71人

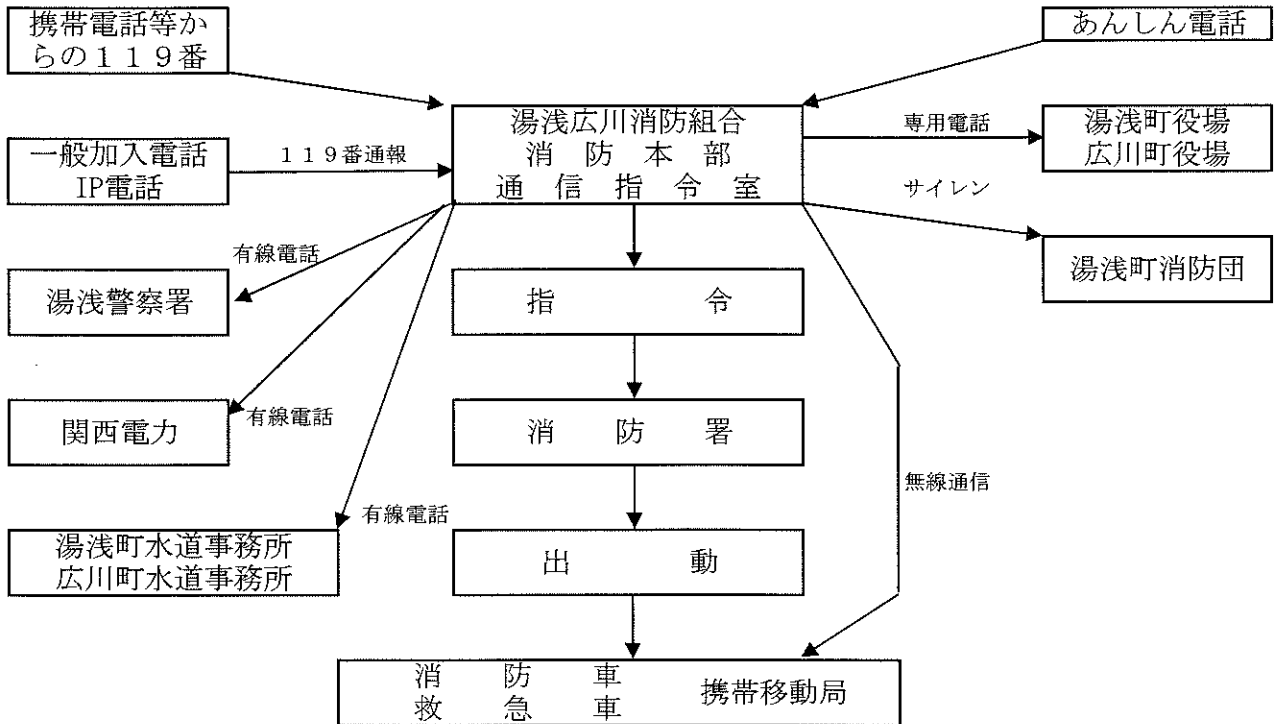
※ 平成18年、20年、23年については、日本防火協会に委託する。
(有田市、有田川町、湯浅広川消防共同支援)

警 防



新庁舎車庫

消防通信系統図



無線電話保有状況

アナログ無線				
局別	区別	周波数	出力	本部・署
基地局	消防波	(MHZ)	10W	3基
移動局(車載)	市町村波	151.59 150.45	10W	10基
携帯移動局	県内共通波		5W	3基
		148.21	1W	8基

デジタル無線 (平成28年1月1日から運用予定)				
局別	区別	周波数 (MHZ)	出力	本部・署
基地局	消防波		10W	2基
移動局(車載)		274.0875	10W	11基
		265.0875		
移動局(携帯)	救急波	274.1625	5W	12基
		265.1625		

有線電話等保有状況

種別	本部・署 (回線)
火災、救急専用電話 (119番)	2
救急医療情報システム	1
119番専用ファクシミリ	1
一般加入電話	3
各課直通加入電話	4
湯浅町、広川町役場専用電話	2
災害弱者緊急通報システム	3
西日本高速道路(株)業務用電話	1
携帯電話(本部用、救急用)	4
和歌山県総合防災情報システム	1

消防相互応援協定

(平成27年12月31日現在)

	協定名/締結年月	協定機関	応援内容
1	日高広域消防事務組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定 昭和63年 1月24日	日高広域(事)消防本部	消火・救急・救助業務資器材の援助
2	和歌山県防災ヘリコプター応援協定 平成8年 2月22日	県下の市町村及び消防の一部の事務組合	消防組織法第一条に規定する水火災又は地震等の災害。
3	和歌山県下消防広域相互応援協定 平成8年 3月1日	県下の市町村及び消防の一部事務組合	大規模な自然災害、大規模火災及び特殊火災、大規模又は特殊な事故、その他応援を必要とする災害。
4	湯浅御坊道路・阪和自動車道(御坊～みなべ)消防相互応援協定 平成15年 11月12日	御坊市消防本部 日高広域(事)消防本部 有田川町消防本部	消火・救急・救助業務
5	有田市・湯浅広川消防組合・有田川町消防相互応援協定 平成18年 4月1日	有田市消防本部 有田川町消防本部	消火・救急・救助業務

消防水利の現況

(平成27年12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
公設消火栓	322	233	555
防火水槽	50	41	91
その他(プール)	8	8	16
	湯浅、田、山田、田栖川吉川分校、各小学校 湯浅中学校 耐久高等学校 宝栄水泳プール	広、南広、西広分校 井関分校、津木各小学校 B&G海洋センター たちばな支援学校 広川苑貯水槽	

主力機関の紹介



タンク車
車名 三菱
年式 平成11年式
車両番号 和歌山県88す7151
ポンプ級 A-2



ポンプ車
車名 トヨタ
年式 平成19年式
車両番号 和歌山800さ6341
ポンプ級 A-2



救助工作車
車名 三菱
年式 平成12年式
車両番号 和歌山830な119



高規格救急車①
車名 トヨタ
年式 平成22年式
車両番号 和歌山830て99



高規格救急車②
車名 トヨタ
年式 平成16年式
車両番号 和歌山830そ99



消火・通報訓練指導車
車名 マツダ
年式 平成19年式
車両番号 和歌山100さ7331



水難救助車
車名 トヨタ
年式 平成22年式
車両番号 和歌山800さ8144



小型動力ポンプ軽積載車
車名 スバル
年式 平成9年式
車両番号 和歌山80あ1565



広報車
車名 ニッサン
年式 平成19年式
車両番号 和歌山800さ6464



人員搬送車
車名 ニッサン
年式 平成19年式
車両番号 和歌山830さ6318



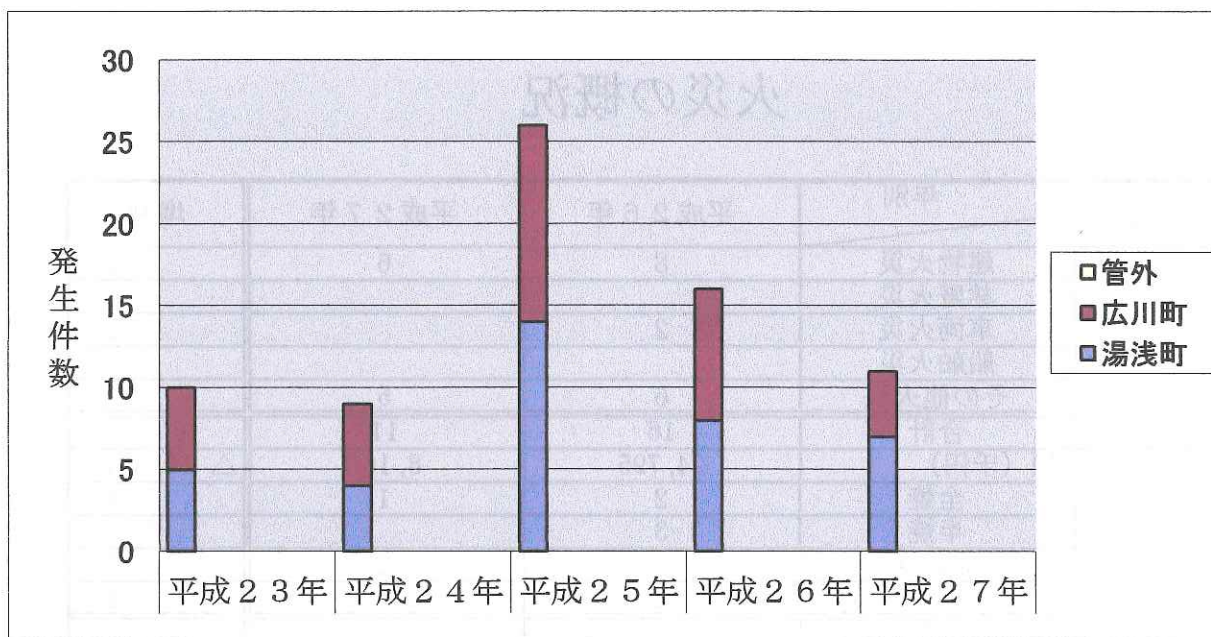
防災指導車
車名 トヨタ
年式 平成11年式
車両番号 和歌山500す2785

火災



火災実験

火災発生の推移



		年別				
		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
町別	湯浅町	5	4	14	8	7
	広川町	5	5	12	8	4
管外						
合計		10	9	26	16	11

町別火災種別状況

町名	火災種別						合計
	年別	建物	林野	車両	船舶	その他	
湯浅町	平成23年	3				2	5
	平成24年	3				1	4
	平成25年	4				10	14
	平成26年	4				4	8
	平成27年	4				3	7
広川町	平成23年	3		1		1	5
	平成24年	2	1	1		1	5
	平成25年	2	2			8	12
	平成26年	4		2		2	8
	平成27年	2				2	4

火災の概況

区分		年別		増減	
		平成26年	平成27年		
火災件数	建物火災	8	6	△ 2	
	林野火災				
	車両火災	2		△ 2	
	船舶火災				
	その他火災	6	5	△ 1	
	合計	16	11	△ 5	
損害額 (千円)		24,795	8,102	△ 16,694	
焼損棟数	全焼	2	1	△ 1	
	半焼	3		△ 3	
	部分焼	3	2	△ 1	
	ぼや	2	3	1	
	合計	10	6	△ 4	
焼損面積	建物	床面積 (㎡)	643.3	23.5	△ 620
		表面積 (㎡)	5.7		△ 5.70
	林野 (a)		6	6	
死傷者	死者	2			
	負傷者	1	1		
り災世帯数		6	4	△ 2	
り災人員		20	11	△ 9	

火災覚知別表

覚知別	年別				
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
火災専用電話 119	4	6	10	3	2
一般加入電話			2	1	2
警察通報			1		2
事後覚知	2	1	5	6	2
火災専用電話 (携帯)	4	1	8	5	3
一般加入電話 (携帯)				1	
その他		1			
合計	10	9	26	16	11

曜日別火災状況

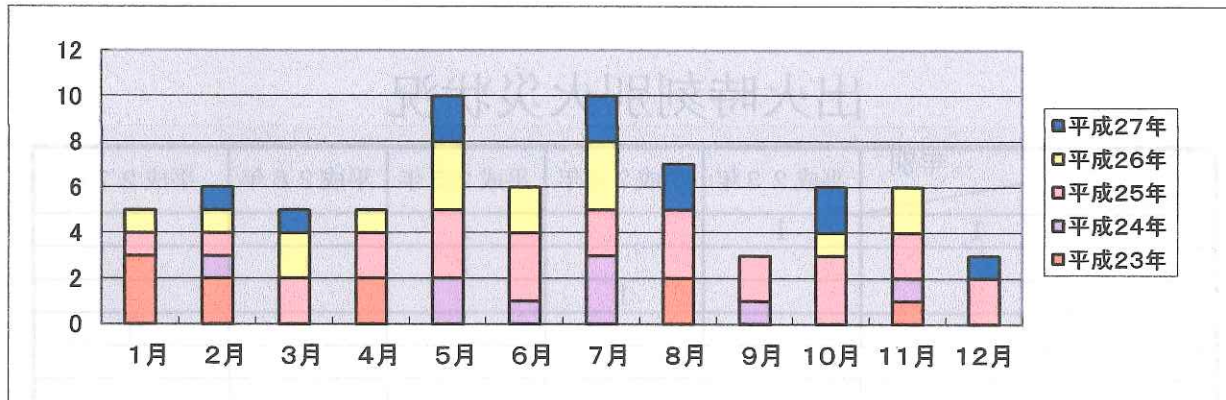
曜日	年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
日		4	2	4	4	2
月		1		4	1	
火		3	1	5	2	1
水			1	1	1	1
木		1	2	5	1	2
金		1	3	4	6	2
土				2	1	3
不明				1		
合計		10	9	26	16	11

出火時刻別火災状況

時間	年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
0 ~ 1		1		1		
1 ~ 2				1	1	
2 ~ 3			1			1
3 ~ 4						1
4 ~ 5				1		
5 ~ 6				1		
6 ~ 7						
7 ~ 8					1	1
8 ~ 9		1				1
9 ~ 10				3		1
10 ~ 11			1	3		
11 ~ 12				1		1
12 ~ 13				2	1	1
13 ~ 14		1		1	1	1
14 ~ 15		1	1	3	1	
15 ~ 16		1	2		3	
16 ~ 17		1		1	1	1
17 ~ 18		2	1			1
18 ~ 19				1	1	
19 ~ 20		1				
20 ~ 21			1	1	3	
21 ~ 22			1	1	1	1
22 ~ 23		1		2		
23 ~ 0				2	2	
不明			1	1		
合計		10	9	26	16	11

月別火災状況

月別	年別				
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
1月	3		1	1	
2月	2	1	1	1	1
3月			2	2	1
4月	2		2	1	
5月		2	3	3	2
6月		1	3	2	
7月		3	2	3	2
8月	2		3		2
9月		1	2		
10月			3	1	2
11月	1	1	2	2	
12月			2		1
合計	10	9	26	16	11

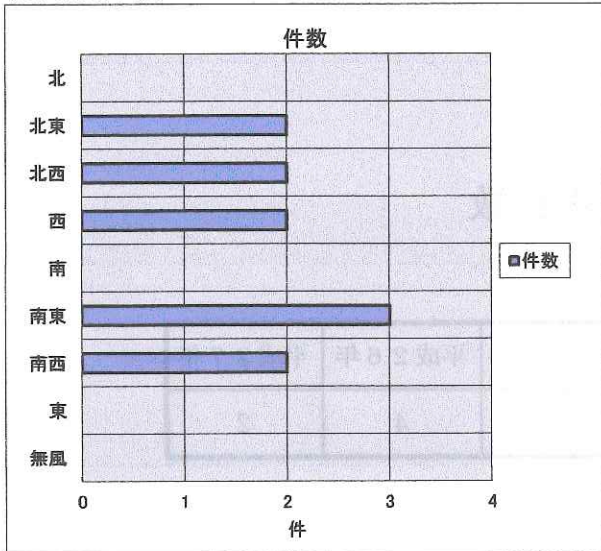


出火原因別火災状況

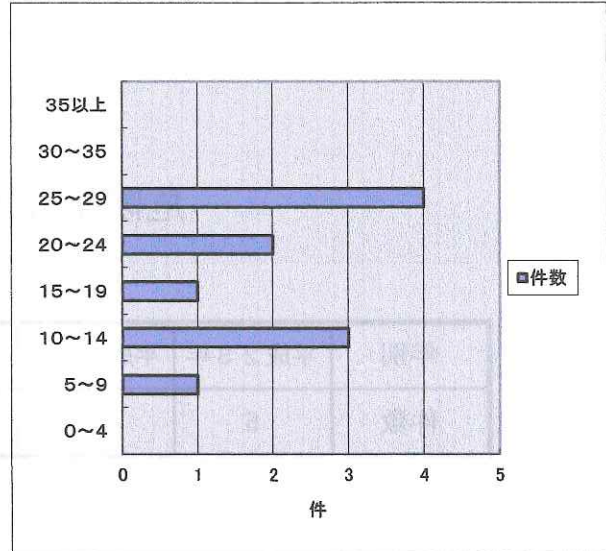
原因	年別				
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
たばこ		1			2
ガスコンロ		2	2	1	1
ガスバーナー					
配線器具		2	1	3	1
火遊び					
マッチ・ライター				2	
たき火	3	2	5	1	1
溶接機・切断機					
放火の疑い	3		10		3
飛び火			3	1	1
再燃					
その他	3	2	4	4	2
不明	1		1	4	
管外(不明)					
合計	10	9	26	16	11

気象別火災状況 (平成27年中)

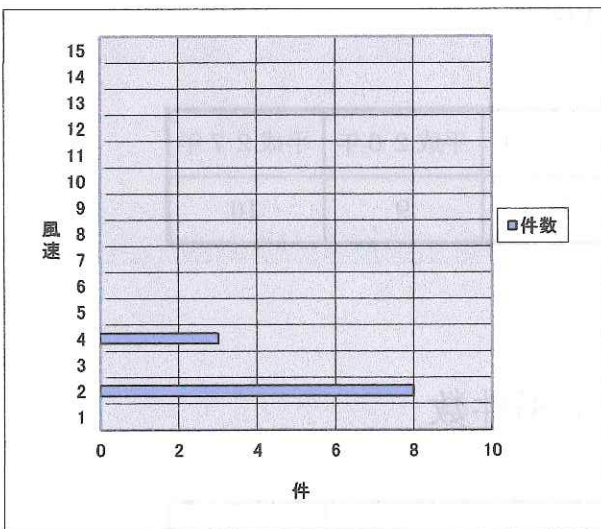
風向別件数



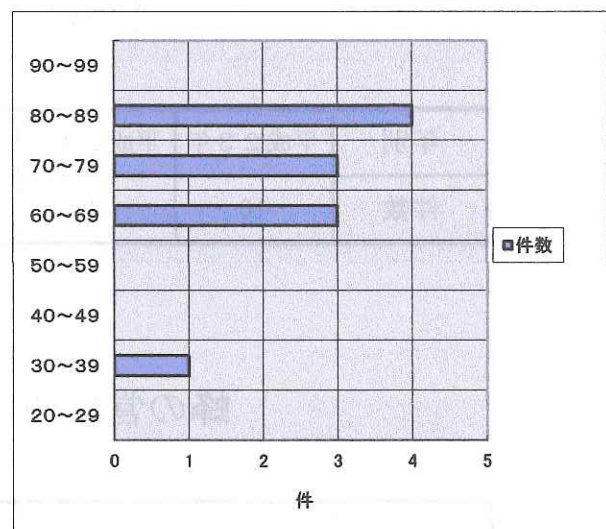
気温別件数



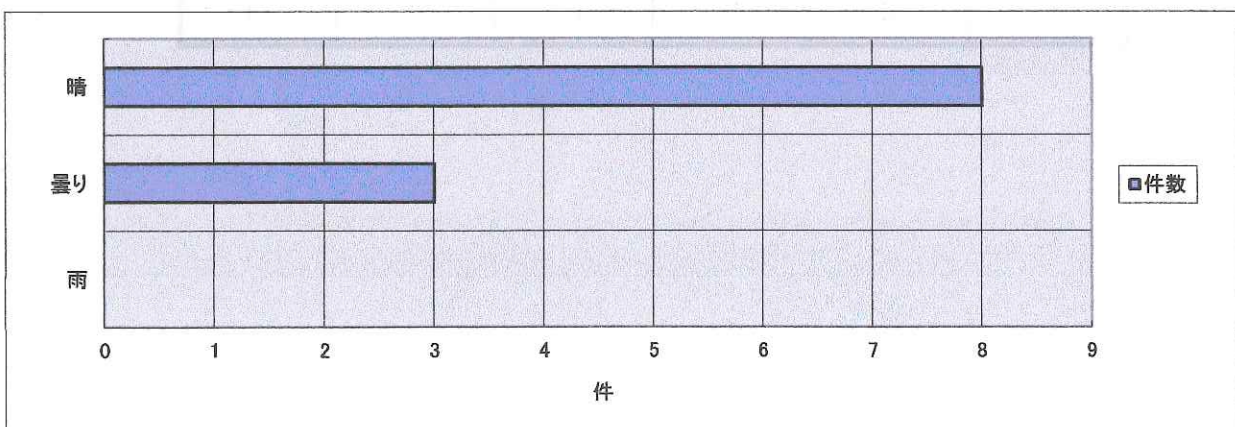
風速別件数



湿度別件数



天気別件数



その他の出場状況

危険排除出場件数

年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
件数	5	3	2	4	2

警戒出場件数

年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
件数	10	13	13	9	10

蜂の営巣駆除出場件数

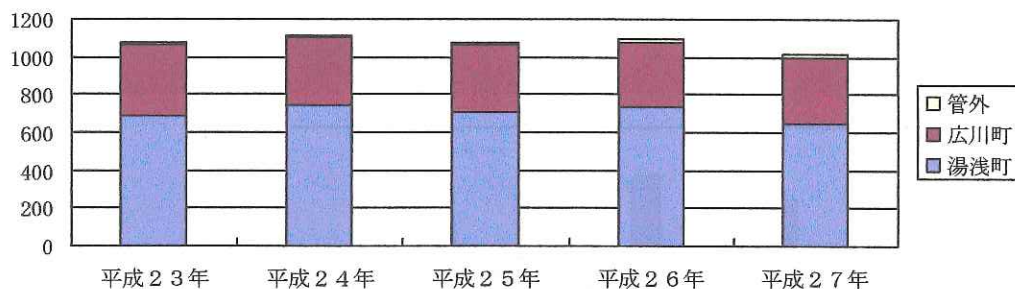
年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
件数	22	48	12	19	11

救 急



平成27年ドクターヘリ検討会

救急出場の推移



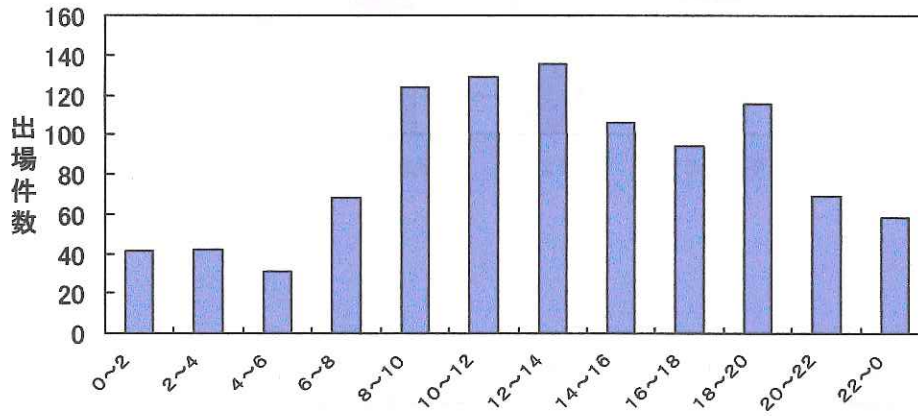
年別		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
町別	湯浅町	686	748	706	740	649
	広川町	380	346	355	334	352
管外		9	8	13	16	12
出場件数		1075	1102	1074	1090	1013
(内ドクターヘリ要請)		27	36	24	26	35

事故別発生状況

年	区分	計	救急事故種別										内不搬送	
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		その他
平成23年	出場件数	1075	0	0	1	106	8	9	127	8	9	715	92	60
	搬送人員	1031	0	0	1	114	7	9	122	8	7	676	87	
平成24年	出場件数	1102	1	0	5	93	9	9	134	8	10	708	125	79
	搬送人員	1045	1	0	4	93	9	11	133	10	7	661	116	
平成25年	出場件数	1074	0	0	4	103	12	9	162	6	10	647	121	83
	搬送人員	1014	0	0	3	114	12	9	152	7	7	602	108	
平成26年	出場件数	1090	1	0	3	88	8	6	152	4	10	694	124	72
	搬送人員	1031	1	0	4	89	8	5	145	4	7	650	118	
平成27年	出場件数	1013	1	0	2	96	9	5	136	4	10	650	100	105
	搬送人員	922	1	0	2	102	9	5	120	2	8	580	93	

時間別出場状況

(平成27年中)



時間別	0 ~ 2	2 ~ 4	4 ~ 6	6 ~ 8	8 ~ 10	10 ~ 12	12 ~ 14	14 ~ 16	16 ~ 18	18 ~ 20	20 ~ 22	22 ~ 0
出場件数	41	42	31	68	124	129	136	106	94	115	69	58

高度救命処置件数

		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
高度救命処置件数		28	19	34	23	21
内訳	器具による気道確保	23	17	28	18	11
	自動体外式除細動器による除細動	3	3	4	3	0
	乳酸リンゲル液による静脈路確保	17	8	24	15	16
	アドレナリンによる薬剤投与	5	6	14	9	5
	心肺停止前の輸液				0	4
	ブドウ糖溶液投与				2	2

程度別搬送状況

年別 程度	平成23年 (人)	平成24年 (人)	平成25年 (人)	平成26年 (人)	平成27年 (人)
死亡	37	33	32	34	13
重症	105	110	116	134	133
中等症	416	416	441	392	339
軽症	473	486	425	471	434
その他					3
合計	1031	1045	1014	1031	922

病院照会件数

年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
件数	667	596	435	476	347

救急資器材一覧表

(平成27年12月31日現在)

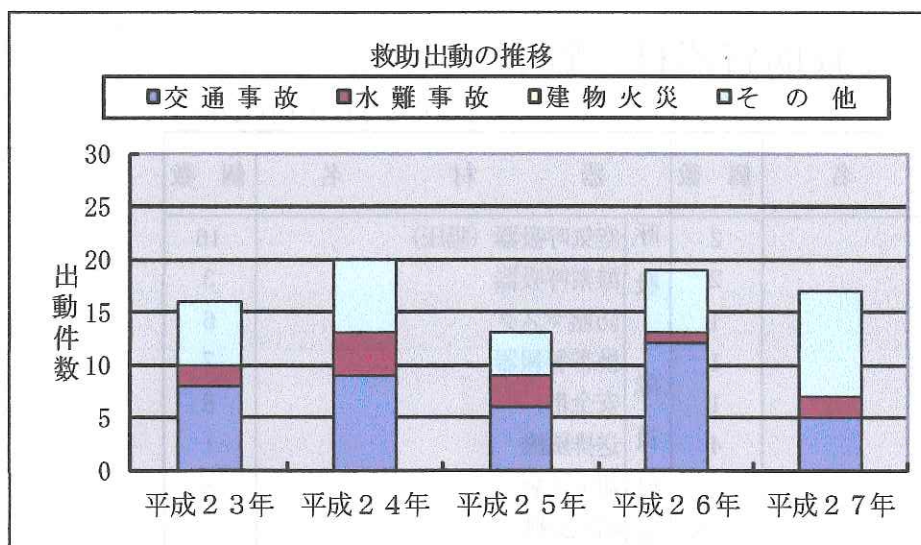
観察用資器材	患者監視装置	保温搬送用資器材	メインストレッチャー	
	体温計各種		スクープストレッチャー	
	血圧計		布担架	
	聴診器		救助シート	
	舌圧子耳鼻電灯		雨おおい	
	検眼ライト		毛布	
	心電計		高圧蒸気滅菌器	
	心電図伝送装置		EOG滅菌器	
	携帯用血中酸素飽和度測定器		オゾンUVエアクリア	
	ETCO2測定器		シール機	
呼吸・循環管理用資器材	手動式人工呼吸器	感染防止用資器材	手指消毒器	
	自動式人工呼吸器		噴霧消毒器	
	ポケットマスク		消毒薬各種	
	流量計付加湿酸素吸入装置		感染防御衣	
	酸素吸入用マスク各種		感染防御用手袋各種	
	酸素ボンベ		ゴーグル	
	電動式吸引器		マスク各種	
	手動式吸引器		アームカバー	
	吸引用カテーテル各種		シューズカバー	
	経口エアウエイ		ストレッチャーカバー	
	経鼻エアウエイ	訓練用資器材	高度シミュレーター人形	
	ラリングアルマスク		訓練用人形(成人)	
	食道閉鎖式エアウエイ各種		訓練用人形(小児)	
	気管挿管チューブ		訓練用人形(ベビー)	
	バイトブロック		気管挿管モデル	
	開口器各種		気道管理モデル	
	舌圧子・舌鉗子		外傷模型キット	
	マギール鉗子		AEDトレーナー	
	喉頭鏡		その他の資器材	車載用無線機
	自動体外式除細動器(二相式)			携帯用無線機
	輸液セット	携帯電話及びFAX		
	輸液ポンプ	分娩用資器材一式		
	駆血帯	在宅医療処置セット		
	留置針	鉗子・ピンセット各種		
	乳酸リンゲル液	氷嚢		
バックボード(ロング、ショート)	膿盆・受水盆・汚物入れ			
バックボード用固定ベルト	リングカッター			
ヘッドイモビライザー	万能ハンマー			
創傷等保護用資器材	陰圧式固定マット各種	ボール		
	梯状副子	救急バッグ		
	ネックカラー	懐中電灯		
	砂嚢	救命浮環一式		
	止血帯	防刃チョッキ		
	三角巾	トリアージタッグ		
	救急包帯各種	ボイスレコーダー		
	救急タオル各種	タブレット端末		
	滅菌ガーゼ			
	滅菌アルミホイル			
熱傷パッド各種				

救 助



平成 2 7 年合同水難救助訓練

救助出場の推移



種別 \ 年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
交通事故	8	9	6	12	5
水難事故	2	4	3	1	2
建物火災	0	0	0	0	0
その他	6	7	4	6	10
合計	16	20	13	19	17

月別救助出場状況

月別 \ 年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
1月	1	1	0	3	1
2月	1	2	1	1	0
3月	2	2	1	1	1
4月	2	1	1	1	0
5月	1	3	3	2	2
6月	0	3	0	0	1
7月	1	2	2	4	2
8月	3	1	1	1	4
9月	1	2	2	0	3
10月	1	0	0	2	1
11月	0	2	0	3	1
12月	3	1	2	1	1
合計	16	20	13	19	17

救助資器材一覧表

(平成27年12月31日現在)

器 材 名		個 数	器 材 名		個 数
一 般 救 助 器 具	かぎ付き梯子	2	呼 吸 隊 員 保 護 用 器 具	空気呼吸器 (陽圧)	16
	三連梯子	2		酸素呼吸器	3
	ワイヤー梯子	1		防塵マスク	6
	空気式救助マット	1		携帯警報器	7
	救命索発射銃	1		安全帯	5
	救命用縛帯	4		送排風機	1
	サバイバースリング	2		耐電手袋	8
	ロープ	一式		耐電長靴	2
	カラビナ	一式		防毒マスク	4
	滑車	一式		安全ベスト	5
救助用三脚	1				
重 量 物 排 除 切 断 破 壊 用 器 具	大型油圧スプレッター	1	水 難 ・ 山 岳 救 助 用 器 具 そ の 他 の 救 助 用 器 具	救命胴衣	37
	車載ウインチ	2		救命浮環	8
	油圧ジャッキ	1		潜水器具一式	6
	ワイヤーロープ	2		水中投光器	2
	マット型空気ジャッキ一式	1		浮標	1
	マンホール救助器具	1		救命ボート・船外機	1
	油圧スプレッター	1		バスケット型担架	2
	油圧切断機	1		山岳救助資器材	一式
	大型油圧切断機	1		テープスリング	一式
	エンジンカッター	2		ダイブトランシーバー	2
チェーンソー	2	携 帯 投 光 器 携 帯 拡 声 器 投 光 器 一 式 発 電 機 緩 降 機 ロ ー プ 登 降 機 そ の 他 の 携 帯 救 助 器 具 応 急 処 置 用 セ ット 携 帯 用 無 線 機 バ ック ボ ー ド 一 式 A C ラ イ ト 4 L レ ス キ ュ ー ス ト レ ッ チ ャ ー	携帯投光器	33	
鉄線カッター	2		携帯拡声器	8	
エアソー	1		投光器一式	2	
万能斧	1		発電機	2	
ハンマー	1		緩降機	1	
削岩機	1		ロープ登降機	1	
携帯用コンクリート破壊器具	1		その他の携帯救助器具	1	
チルホール	2		応急処置用セット	2	
			携帯用無線機	10	
			バックボード一式	1	
測 定 器 具	可燃性ガス酸素濃度測定器	2	用 器 具	ACライト 4L	5
	展張計	1		レスキューストレッチャー	1

消防年報(平成27年版)

平成28年3月発行

編集・発行

和歌山県有田郡湯浅町大字青木 670番地

湯浅広川消防組合消防本部

TEL (0737)64-0119

FAX (0737)63-6626

<http://www5.ocn.ne.jp/~yuhirofd/>

E-mail: fd119@juno.ocn.ne.jp